

『姿』再演

作・池田亮

母 (五十八歳)
父 (六十三歳)
子 (二十七歳)
祖母 (八十四歳)
祖父 (八十三歳)
弟 (二十一歳)
弟母 (五十五歳)
弟父 (五十七歳)
若父 (二十七歳) 四十六歳)
若母 (二十二歳) 四十一歳)
若子 (五歳) 十五歳)
俳優
ディレクター
技術スタッフ
職員①
職員②
声優①
声優②
音響監督
取立①
取立②
上司

台詞の語尾や間は演じる俳優の状態に応じて変えてください。
言いにくい台詞もありますが、そのまま距離を置いてください。

第〇場

東京都内。

会社の43階の動画撮影ブースにて。人々が入ってくる。父、技術スタッフ、ディレクター、子が準備を始める。父と子はスタッフパスをつけている。

父役

おはようございます

スタッフたちも「おはようございます」など答える。ヘッドマウントディスプレイとモーシヨンキャプチャーをつけ始める父。技術スタッフがアシストし、父が装着した機器とパソコンの無線接続を行う。

接続が完了され出力を確認できたら、技術スタッフは大きめのスクリーンへ映像を投射。

その後ろには映像で3D化されている女性のキャラクターが父の体の動きと連動して動いている。

装着した機器により首、唇、胸、上腕、手などの上半身がシンクロ。女性キャラクターは世間で言うアニメキャラ、美少女キャラのような若い容姿であり、その3Dモデルを動かしている父の容姿と声に比べると似つかわしくない。正常に動作しているかテストをしながら前説。

父役

こんにちは。お待たせしました。今日はお集まりいただきありがとうございます…ありがとうございます

大きく手を振ったり横に揺れたりする。連動する3Dモデル映像。

父役

始まる前にお願ひ申し上げます。食べ物ダメです。飲み物はいいです。携帯電話はオフで音がならないようにで、お願ひします。で、気分が悪くなった方。お足元に気をつけて出口の方へ向かっていただくか、はい、って手をあげたら、こちらのスタッフとかが助けに、ゆくのその場合はその場でお待ちくだ、さい、はい、あと、はい今の段階でもう気分が悪いって人は、あの、この私の今の状態、というか目の前で起こってるのが原因で、もう既に気分が悪いって人は、今、手をあげてください

手を挙げる人が一人もない場合は、少し待って以下台詞。

父役

嘘ですよ。いますよね、きつと。心の中で手を挙げている方は。ねー。心の中で手をあげてる方、素直にごめんなさい。男性の私が、こんなことをしてしまい。ちなみに私、妻がいるんですけど、妻は結構偉くてですね、偉いというか、あの、今年のオリンピックの推進委員をやっていたりと、どこの区かは言えないんですけど、本当は今年の三月で退職だったのに延期しちゃったんでもう一年再任用で頑張っちゃったりとまだまだバリバリの公務員でして。そのような妻が今の自分の姿を見たらカーーッとなると思います。プライドねえのかー！ 豊島区に失礼だろー！ 知り合いが観に来ちゃったらどうすんだよー！ みたいな。でもですね、私も新しい世界に飛び込んで、今から皆様へ新しいことをお見せするために誠心誠意頑張りますので、よろしくお願ひします。あとこれね、衣装とかも変えられるんですよ

3Dモデルが衣装設定によって変わる。

第一場

父役

ディレ

技術

父役

こんな感じにいかがでしょう。ちょっと露出を少なくしてみました。いや、そういうことじゃないよって感じですがはいテストありがとうございます。(観客へ)では始めさせていただきます。

よろしくお願ひします
よろしくお願ひします

ディレクターからキューのサイン。
以下、3Dモデルは連動して動いたまま。

ここから父役は父になる。
※時代設定は2019年

ディレ

初めまして。こんなジジイも遂にユーチューブでの配信者として活動することになりました。売れるのかって話なんですけど外見が女の子で中身は白髪ジジイじゃよっていう異化効果やギャップみたいなのは視聴者の人もねハピネスしてくれんじやのうと。ま視聴者のある層の方々にはとんでもないバッシングを喰らいそうなんですけど、私はこれから私の話をこの姿でしていこうかなって思います。話っているのは、あ私離婚するんですけど世間で言うところの熟年離婚を。妻は今も区役所で働いてる、環境清掃部長をしながらも来年のオリンピックの推進委員もやる方で、別れることになったというか、はは。そういうのを機に第二の人生というか新しいことしなくちゃと考えてたら、ジジイにこういうバーチャルのをやらせる企画を知りまして、そのオーディションに受かっちゃって、このように再就職先が決まりました。でも意外とこれ楽しいです。これから定年を迎える方、もう定年を迎えてしまった方々、これ、やったほうがいいですよ。これからの老後の楽しみはこれです。この女の子になって若返るみたい。印象画家のメアリーカサットのあの男子禁制な触れられん絵の世界に没入したような感動が自分にはあります。今は喜んでなんでもやろうと思う所存です

……はいカットで、オッケーです

ディレクターからカットのサイン。

各々「お疲れ様です」と言う。

3Dモデルが映る映像が消える。

子 チャンネル登録的のどうします？

ディレ あとでテロップで

子 あー

ディレ や、言わんでもCTR変わらないんで

子 え、そうなんですか

ディレ (父へ) あお疲れ様です外しちゃって大丈夫です

父、身につけた機材を外していく。

父 すみません途中から台本通りじゃなくて

ディレ やー自分の言葉で話してもらったんで

子 あ、あとあの区役所とオリピックカットで

ディレ あー

子 それ多分身バレしそうで怖くて

ディレ あ(笑って) はい

子 はい(笑う) どうです全体的に

ディレ 初めて観た人には…割と紹介できてんじゃないかなって

技術 バズらせたいですよねー

ディレ よねー、体験価値はあると思ってて、こう言っちゃ失礼か

子 もですが、珍獣的な

子 ああ、いや

ディレ すみません(笑う)

子 (つられて笑う) いえいえ

ディレ でま不幸な体験話? から出る応援価値をどうするのと、

子 あと動画投稿が継続する場合の企画をどうするかってのを

子 はいはい

ディレ フラッシュユすけど「踊ってみた」系のダンスがいいかな

子 えダンスですか? …え、アイドルとか?

ディレ そうそうあえてアイドルとか、実はおじいさんが踊ってる

みたいな

子 ええ(笑う)

ディレ 中の人を連想させたいよね(笑う) 中にいるの、どんな人だ

子 ってのを、そこおつきいすよ

子 ふ(笑って)

ディレ あ、すみませんお父さんになんか

子 いや、企画書書きます、そのダンスで

父、機材を持ち置く場所を探して

ディレ あ、そこでいいですよ

父 そこ

ディレ あの床で。全然そこで

父 (頷く) ああ

父、機材を置きながら

父 あのー、ありがとうございます

その声を聞き、周りは一間置いて父を見て、

技術 あ、ありがとうございます

ディレ (同時)ありがとうございます(こちらこそ(父を見て)ふ

(子と比べ)(少し可笑しくて)お父さんなんです不思議

子 やーこの度はうちの父がありがとうございます

ディレ いえこちらこそ

技術 えーうちの、うちの父ってどういうことですか(笑って)

子 あ、実の父なんですよ
 技術 …え！ そうだったんですか？
 子 え、あれ、言いませんでしたか？
 技術 やいや
 子 僕の本当の父で、あの僕息子です
 技術 え、知らなかったです、えー？
 子 僕がちよっと…今回のキャスティングにプロフィールを入れて、父の。で父も今60…いくつだっけ
 父 63だね
 子 63歳なので、定年したらなんかユーチューブ的な仕事でもなんでもしたいって言ってる、でー通っちゃって
 技術 ええー
 デイレ (技術) 知りませんでした？
 技術 や、どっから連れてきたかと思ってる
 父 子の七光りですね
 技術 あ、子の
 父 親ならぬ
 子 子のっていか別に七光りではないでしょ
 技術 えーじゃあさつき話してた奥さんとの離婚っていうのは
 子 ああマジですね
 父 本当ですね
 デイレ ガチなんすよ
 技術 ああそうですか
 父 まあ…妻との離婚の正式な手続きはしてなくて、これからなんですけど
 子 あ…へー、それは…
 技術 今度その離婚する話を僕が書いた脚本で舞台にして、父も出演するのは是非観に来てください

デイレ え、そうなんですか？
 父 はい
 デイレ お父さんも出演？
 子 はい
 技術 (父へ) あ、舞台もなされるんですか？
 父 まあ息子の頼みとあれば
 技術 ええ？
 デイレ へー…え離婚の話なんだ…
 父 あー是非観に来てください
 技術 あー是非とも…是非ともっていうか…離婚、え…えお父さん、そういうこともいろいろ含めて、いいんですか？
 父 頼みとあれば
 技術 この人本当にお父さんですか？
 デイレ うふふふ、本当です本当
 子 あすみませんちよっと今日僕が書いたアニメの…初めての
 デイレ あーそうでしたね
 子 はい、放送あるんでリアルタイムで観たいかなって…
 デイレ あーおめでとうございます
 子 あーいえ、すみませんお先失礼しますお疲れ様です
 デイレ お疲れ様です、じゃあパス受付に置いてもらえればいいんで
 父、ディレクターにパスを渡す

子 はい、失礼します
 父 お疲れ様です
 技術 お疲れ様です

パスを受付に置き、子と父、帰りの道中。
風は少し強いが、涼しい。

夜涼しい

ね

俺は今後まあやって収録するって感じ？

動画の再生数によるな。今日の案件の会社は他に何人かあ

あいう動画撮ってて、人気で再生数が多いのは継続的にな

って、少ないのは打ち切りで

へー、こういう仕事ってどこからもらうの

所属してる作家事務所というか会社から

へ

ま舞台お金になんないからやんなみたいと言われるから、

今はユーチューブの作家の仕事とか多くて、あと、アニメの

脚本とか

アニメいいじゃない、遂にきたね

やく遂に今日放送ですよ

ま、お前はその歳で仕事もらえるだけ運いいよね、売れてな

い人多いんだから

俺も売れてないって。

どんな仕事でもあるだけいいからね

ああ…よかった？

ん？

よかった？ 今日の仕事

俺のこと知ってる仲間には見せらんないねあの姿は(笑う)

ごめんね勝手にプロフィール出して

あのね今まで職場の人たちに、ボスっていつて慕われてま

したからね、頼みますよもう

子

父

子

父

子

父

子

父

子

父

子

父

子

父

なのによってくれてよかったの？

それはやるよ、あなた息子なんだから

おーそう

あ、せっかくだから家で一杯やるか。アニメ見ながら

え、実家？

うん。明日仕事？

いや会議は午後から

じゃあ今日…放送記念に乾杯

いやでもまだいるでしょ

ん？

あの人、お母さん

や…今日もあつちの家

…あ、そうなの

うん、もうこっちの家には帰ってこないつもりだから

…あ…そっか

第二場

夜の駅前。

母、職員①、職員②、俳優、話しながら入ってくる。

区役所での仕事が終わわり、少し食事をした後、酔った様子。

職員① ありがとうございます、今日はご馳走様でしたホントに

母 (笑って) いいのいいの全然もう、立派だから二人は

職員② やそんな

母 いえいえ立派だよ。

職員② いや部長のおかげで助かってます

母 やーあなた方のおかげですからそれは。

職員① そんなあ

母 できるできないじゃなくて、大事なものは、向き不向きより前

職員① 向き、だってことをあなた方に伝えただけですから私は

もうそれ以上に、引っ張ってもらってますほんと

母 なーにそんな、それは部長として当然ですよ環境清掃部長

として。(笑って) ハ、でも部長なんて大したじゃないもん

職員① いえいえいえ

職員② 立派ですよ

母 そんなら、だってねえもうオリンピックだから

職員① ああ(頷く)

母 うちの区もよりクレバーに動かなくちゃというか(笑って)

私、頑張りますんで、っていうか地域を(笑って)綺麗にし

ないとですので、よろしくお願いします(お辞儀)

職員① ええや、こちらこそよろしくお願います

職員② ああお願います

お互い頭を下げつつ、

母 では、失礼します

職員① はい、ありがとうございます

職員② ありがとうございます

母 はい、あのしばらく環境課の方お願いしますね

職員② あはい、お任せください

母 環境清掃フェスも、頑張りましょう!

職員② あはい!

職員① 部長もあの、出張といえど、海外楽しんで来てください

母 はい、楽しんで、はい視察いたします。では

俳優 じゃあ僕、そこまで送ってきますんで

職員① はい、おやすみなさい、ありがとうございます

職員② ありがとうございます

母 はい、ありがとうございます

俳優 ありがとうございます

母と俳優だけになり、

俳優 ありがとうございます呼んでくれて

当然だよ、あなたホント、芸術に残る若者だから

改めて、この度はご一緒させてもらって嬉しいです

ね、海外楽しみだよね、いろいろな海外の監督とも会えるし

いろいろ学ばせていただきます

もうホントあなたのためになればだよ……

母、立ち止まって、

母 あ、大丈夫大丈夫、私今日別の駅から帰るんで、もうここで

俳優 あそうですか
 母 ごめんなさい、送ってもらって
 俳優 いえいえ、今日はその、そっちの家に？
 母 ん、あっちの家にキャリーバックとか置いてきちゃって。
 母 も、すぐ取ってきてバーって帰ります。もうあっちいっとさ
 俳優 イライラしちゃって。散々人の心叩いてくるから(笑う)
 母 ふふ(笑って) じゃあ明日の集合はここで
 俳優 えーいいのここまで来てもらって？
 母 もちろんですよ。いや、もう、ここでずっと立って待ってま
 母 すから明日を
 母 え、ちよっとちよっと(笑って)
 俳優 や本当に。ずっと立ってます。僕道路大好きなんで
 母 …いやーすっごい…私も、生活を送る人々にとって、最も利
 俳優 用されてとても大事なものは、道路だと思ってます
 母 すごく分かります
 母 はいもう、様々な人々が歩きたくなる過ごしたくなる、心が
 俳優 豊かになる道路を作ってこそですから私たちは
 母 はい…冗談だと受け取って欲しくはないのですが、今日こ
 俳優 この道路に宿泊します、立って
 母 いや、あなたも準備あるでしょ、飛行機なんだから(笑う)
 俳優 もうチェックインしたので、ここに
 母 なにいったんのもう。じゃあ気をつけてね？
 俳優 はい、ありがとうございます
 母 はい(笑って)また明日！ 酔っ払いに付き合ってもらって
 母 ごめんねホント
 母 帰っていく母。以降、その場でずっと立っている俳優。

子 父と父、既に家のリビングに入っており、
 父 父はお酒を用意し、息子へ渡す。
 子 ありがとう
 父 …最終的になっていうか、結局その…手続きはいつなの
 子 あー…お母さん海外出張で忙しくなるから
 父 あ、もうお母さんじゃないか
 子 ……
 父 うん、っていうか、さっき
 子 あ、うん、忙しくなるから、それから戻ってきた後かな
 父 (頷く) うん
 子 ま最終的というか…お前そんな時、顔は出す？
 父 いいよもう他人でしょ、既にもうかなり
 子 ……よい？
 父 え？
 子 よいかしら？ 平気？
 父 離婚が？
 子 んな本当に…うん
 父 ん、だって決めたことでしょ？
 子 んん…
 父、テレビをつける。
 子 …乾杯、アニメ脚本、放送おめでとう
 父 あ、ありがとうございます…ありがとう
 父と子、乾杯する。

父 こんな深夜にやるんだ…あ、始まった
子 うおわあえ！（興奮）ああす、嬉しくて…気持ち悪い反応し
父 たあ
父 お前かわいいいな？
子 それはやめて
父 フ…えーこれ、いつこれお前の名前でんの
子 あ終わりの、スタッフロールに…スツと
父 おお

別空間の時間軸で声優の収録現場がある。
父と子にはアニメとして見えている。

声優① 「地元…帰って、きちやった…（大きく深呼吸）」

「スー…ハ…ハ…」

父 この子が主人公？

うん、そう

父 なんでこの子、耳と尻尾生えてる？ どういう話？

これ競馬の実際の競走馬が女の子になって走ってるって…

父 ああ馬…

声優① 「空気が気持ちいい！」

…これは…どこ？

子 北海道…まあ、今は見て

SEで車のクラクションが鳴る。

声優② 「おかえり」

声優① 「あ、お母ちゃん！ ……ただいま！」

声優② 「さ、車に乗って」

声優① 「ううん！ 競走したい！」

父 競走？

声優① 「久しぶりに、家までお母ちゃんと競走したいから、走る！」

父 ……これは…あ、競走馬だから走るのか

子 車とタイマン張れるスピード出る

声優② 「よーし、飛ばすわよー！」

SEで車の加速音。

声優① 「あ、お母ちゃん、フライング〜！」

声優② 「車もアンタに負けないよう、改造したからね」

父 ……これは…親子なのね

子 うん。ま今は見て…

声優② 「ほおら、置いてっちやうぞ〜？」

声優① 「あ、お母ちゃん〜！ 置いてかないでよ〜！」

「お母ちゃん〜！ 置いてかないで〜！」

SEで車が走り去っていく音になる。

…ねえ、離婚

父 やめてくれよ…！ ゆっくりみようよ今はアニメを…！

ほお

子 ここ今だから見ると別の意味で辛いわ…別の意味で…

父 ……おおう

子 ……（頷く）

声優たちの別空間、中間までの収録が終わり、

声優は本を膝に置き、音響監督がマイクで話しかけ、

音監 はい、いただきました。チェックしまーす

声優① ありがとうございます！

声優② ありがとうございます！

音監 ありがとうございます！、お待ちくださいー

父 声優さんたちとは話した？

子 話した話した、スタジオで。あの、ポケモンとかやってる、ベテランの人もいて。昔から、聞いてた声の

子とても緊張して、声優たちの収録現場の別空間に入る。

子 あああす……すみません！

声優① ？

子 ……あーす、お疲れ様です！う……ライターの……

声優① あーお疲れ様です！

声優② お疲れ様です！

子 あ……収録にお邪魔しちゃって……えあああ……

子、緊張して声あまり出さず、

父 不審者かな？

子 (父へ) 違うんだよ声出ないんだよ緊張で(声優②へ) あ……

子 ……今回のあの話数を書かせていただいたものです……

声優① あーお願いします！

声優② お願いします！。お母ちゃんをやらせていただきました

子 あ、ありがとうございます！ あの……僕あの、(声優②へ) 小さい時から知ってて、あのだあのだ……

声優② あーはい！

子 その、色々アニメやられてるじゃないですか……

声優② ああ、ありがとうございます、小さい時から……

子 はい、もう……見させてもらってながら、はいもう……

声優② いやこちらこそ、幸せなお話をありがとうございます

子 いえこちらこそ、本当にはい、本当に

声優② もう親と子で、仲良くさせていただいております！

と笑いながら声優①と声優②が笑って肩を寄せ合う。

子 あ(笑って) さっば、それは嬉しいすうね(笑って)

子、ブーっと電話が掛かってきて、

子 あすみません電話

声優② あ、はい

子 じゃああの、後半の収録も……よろしくお願いします！

声優② はい、よろしくお願いします！

子 ありがとうございます！！

子、電話に出て。

父 よし……(電話) はいもしもし！

子 (電話) あ、もしもし……

父 (電話) おーお父さんどうしたの

子 (電話) あなんだろね、会って話そうと思ってたんだけど

父 (電話) うん、あの俺もね、話そうと思ってたことあって

父

(電話) あん……………あのお母さんとさ……………(言い出し辛く
うん離婚することになってさ)

(家へ戻り) このタイミングで電話してきたからね、あなた
あ、そうだったの？

そうだよついさっきまで親子仲いい！ みたいな場所だっ
たのに、こっちはこれがよって

なのね

なのねじゃないよ、なんだよそれ

父子

第三場

家にて。

鍵を開ける音。

ドアの開く音がする。

……？

ん

誰か…

父子

スリッパを履いた俯き気味の母がリビングに入ってくる。

あ？ なに？ (酔っている) ……………いんの…？

母

母と完全に子と父が認識する。

…… (目が泳ぐ) (テレビに集中し)

(子へ) あんたきてたの？ ふっ (笑って)

ああ…おお……どうしたの

どうしたのって (笑って) ……出張で荷物取りに来ただけだ
から

… (頷く)

どうしたのってなんだよ (笑う) なんだ (笑ってる) ちょっ

ともう、今日だけここで寝るから私は

んん…

(子へ急に) なんしてんのあんたは？

……え

子母父

母父

母父母子

母

……(その返事も分からないのに対して)ハッ、ちゃらんぽらんだなあ…見るからして。テレビなんて一丁前に観て…なんだ、なにこれ？

父、テレビを消そうとする。

(少し小声)いや消さなくていいよ。だってもう違うでしょ酔っ払ってるよ

(小声)関係ないよ、従わなくていいでしょだって

(あえて合わせるように小声)声ちっちゃいな、なにをコソコソやってんだか(笑う)やってんだか…

(母へ)(だが見ずに)ね、なに？ 他人なんだから、もう

(父へ)え、なに？ 何見るの？ 見ないなら消して、電気払うの今月まで私なんだから。この家、私のお金からも出してるから。あんた出てけば？

今、書いた話が…放送してるの。この子が書いたアニメ

子は父に「なんで言うの」と止めようとするが、父の泳いでいる目を見て、何となくとどまる。

え？ (子へ笑って)あんた書いたアニメ放送してんの？

………

(笑うではなく)はっ、こんな深夜に？ 何チャン？ 東京MXだよ…寝んじやないの

だからちっちゃいんだ声が

………

…(笑う)は

声優たちの別空間、収録が再開される時間、音響監督がマイクで話しかけ、

音監
それでは再開しまーす

声優①
はーい

声優②
はーい。(子へ)あ。あ。あ。

子
あ、はい

声優②
(優しく笑って)お願いします、やらせていただきます

子
…(はい)(と、頭で返事をし)…

音監
それではBパートからお願いまーす、どうぞ

母もテレビを見る。子、それを気にし脇汗がヤバい。

声優①
「お星さまが綺麗……」

母
なんだこれ

声優②
「となり、いいかい？」

母
(そのキャラクターデザインから)はー…なんでこーいう絵柄なのかね…なんか生えてっし

声優①
「……あのね、お星さまも綺麗だけど、一番でゴールした時に見えるペンライトの光も、とっても綺麗なんだよ」

母
なにいつてんだか

声優②
「……じゃあ、あんたがもっと見られるように」

声優①
「ん？ なにこれ？」

声優②
「開けてみな」

SEで箱を開けるパカッという音。

声優①
「これって……」

声優② 「それ、私の手作り」

声優① 「ええ！？ 嬉しい！……嬉しいよ！」

母 「これ誰がみんの？」

声優② 「よく見て」

声優① 「あ……」

母 ふっ(笑う)

声優② 「ここ、アンタの名前が入ってるから」

声優① 「本当だ！」

声優② 「使ってくれるかい」

母 は、だれが見んだこれ

声優① 「うん！ 絶対、次の天皇賞で使う！」

母 天皇賞？

声優② 「ありがとう……うれしいよ」

子 (母へオドオドしながら) ちよっと…静かに…

母、少し気分を(元々悪いが)悪くして。

声優① 「あのね……」

声優② 「なあに？」

声優① 「私……嬉しい」

声優② 「ん？」

声優① 「お母ちゃんの子で」

母 ふっ(笑う)

声優① 「ありがとう、お母ちゃん！」

母 (子へ) なにこれ、あんた書いたの？

声優② 「私も、あんたのお母ちゃんで嬉しいよ」

母 (子へ) あんた書いたのこれ(笑って) いや、いや、

声優① 「大好きなお母ちゃんへ、宣言！」

母 おう、言え言え！

声優① 「……私、この北海道から日本一になるからね！」

母 ……………ふ

声優② 「ははは 大きい声だ！ じゃ、思いっきり走っておいで」

声優① 「うん！」

母 声優さんに失礼だよ

子、思わずテレビを消す。

声優の空間は閉じ、声優①と②は並んでどこかに歩き出す。

母 これはなに(笑って) あんたが、書きたくて書いたのこれ

子 え、いや、そうです…けど(イライラ)

母 (笑って) え誰が見んのこれ？

子 いや…あなたの区の、区に住んでる人も見るよ

母 いや見ないよ(笑って)

父、子を止めようとするも止めようとしたまま何もできず。

子 見るよ…全国で放送されてんだから…あなたが働いてる区

母 の人たちも見てるよ

子 いや、見ないね。こんなのは

母 え、ちよっと…なにそれ、え、あなたってやっぱそんなに多

子 様性を否定する人なの？(怒ってきて)

父 ちよっと…

母 (父へ) もういいでしょだって、別れるんでしょ

子 やあんたがいいならいいって話で、私はよくないね(笑う)

母 ちがうよあなたの区の人は見てるのかどうかって話でしょ

母

先ず、私の区じゃないし(笑う)私は、区をよくしようとしてる公務員だから。っていうかあなたの多様性ってなにをいってるのそれって(笑う)

母子

いや、だからこういうのもいろんな人が見るでしょって違う全然違う(笑う)そういう見るか見ないかを言ってるんじゃないの私は。ええ? あなた好きでやってんのあれ? 私はそうは見えないね悪いけど

子

やってるよ。やってるからこうやって今見てんの、それをあなた横からいろいろめちゃうか言うから不快だっかってんだよ

母

私もこれ見て正直不快だけどね。なんなのこのオタクキーン(笑う)え不思議だね。今消費されてるとか言われてるけど、でも、私的にそういうんじゃない。なんかどうしてよね、こっちはこういうの見ようとはならないってことを言ってるの(笑う)何に媚びてんだよあなたは(笑う)ねえ、あなたこれが本当にやりたいの?

子

(声が震えて)え、なにやっけて欲しくないってことを言っ

母

てほしいの? 違う違う、あなたがね、普段から考えてるのが甘ちゃんだっことを言ってるの。あなたが絵を描きたい彫刻やりたいって言って芸術の大学行って、んで結局、結局こういうの作って、もう、私がね、一緒に海外にね、上に駆け寄って、今度出張で連れて行く人はね、ちゃんと芸術をしてる人なの。その人はお金がないけど、大衆に媚びてないの。オリジナルなの本当に。もう自分が突っ立ってるっていったら、ずっと突っ立ってる人なの

俳優、まだあの場で立っている。

母

だから私がね、そういう何年も先に残る人を是非とも残したいって、私みたいなこういう公共の立場からサポートしたいんだよ。あなたみたいにがちゃがちゃやってお金稼ぐ人じゃなくて、消費者に媚びうって依存させて搾取するコンテンツに迎合してないんだわ(笑う)あなたと違って…え、で、さ、ええ? え、そういうあなたこそ迎合してんじゃないの

子

もう…もう…(止めようとして)

父

(それを遮り)だからあなたの仕事はそういうオリンピックとかに対しても迎合してんでしょ、よくわかんないお金もたくさん使って国のトップが言うからボランティア使ってお金も払わないでいいようにさせるみたいなのをやってるのがあなたの仕事でしょ

子

いっや全っつ…つたく分かってないね

母

わかつ分かってない何も。せめて物書きならそういうのちゃんと調べろ。何もしてない、現場にもいない言葉だけ想像だけで言う奴が本当に嫌い、私は。高校までせつせと陸上やってたあなたの方が100倍ましだよ! あなたもね、よく分かんない話をね、趣味かなんだかお金稼げんのか分かんない舞台とかやってさ(笑う)、あなたこそよくわかんないお金たくさん使って誰に向けてやってんだかお金ちゃんと払ってんだかよくわかんないことやってきてそういう立場から私の仕事にとやかくゆうのは絶っつっ対に違うからな! ? いや、そういうのやってないよ…

母子

じゃあどうのやっつてんだよ!!
あなたみたいに公共でもやるんだよこっちは…

母 子 母 子 母 子 母 父 子 母 子 母 子 母 子 母 子 母 子 母 子
 なんだやるのかそれ！ 嘘つけ公共じゃないだろ！！
 公共だよ……
 わかっているのか公共というものを！ 道路ぐらいために
 なるものなのかそれは！！
 でもやるんだよ……
 じゃどこでやんだよ！ それをお前はどこでやんだよ！！
 子、もう泣いてしまっているようになっていて。
 豊島区だよ……！
 は？
 豊島区でやるんだよ……
 豊島区……
 池袋……東京芸術劇場……シアターイーストだよ……お父
 さんも出るから……
 ？（「ここで俺？」というように目を向け）
 ……なにやっつてんのあんたら
 ……だから、やんの……イーストで
 いつなのそれ？
 ……2年後の5月……
 はっ、「立派なことじゃないそれは。私が作ったほうがうま
 くいくなそれは
 は？
 え、私が出たいなく！ その時にはオリンピックも終わっ
 て退職してるからさ、や（笑って）だっであんたらみたい
 なちやらんぼらんが東京の、芸術の、劇場って……私は観ない
 ね、あんたらがやっつたら、うん（笑う）豊島区はそうか……
 ……先ず、もう、そこからだね、その案件は

母 子 母 子 母 子 父 母 子 母 子 母 子 母 子 母 子 母 子 母 子
 いや観に来る人は来るよ……！
 来んのかなあ（笑って）じゃ何をやんのって話だよ？ あん
 たのそのちやらんぼらんな生き方で
 だ、あなたの話だっつてやるよ……あなたのことだっつて書くよ
 （すごく睨む）……男が女の話を書けるわけないだろ……！！
 ……！！……じゃ……じゃいうけど、さっき言っつた芸術に残る
 もの残らないものとか媚売の売らないとかじゃなくて、今
 をどうにかしたいってことをしたいよ……！！ 今のあなたの
 そういう暴力が昔っから本当に苦しいってことを言いたい
 の、ずっとそうだったから！ それをあなたのいう公共で
 やるの俺は！
 みみっちいね本当に……言うだけ立派であんたもあんたも
 （父と子）何にもしてないからな！ 外の花壇の花だっ
 て！ 枯らしたのはアンタらだろ！？ そういうそういう
 こともできてないのにそういう時だけ立派になるな……！！
 その枯らしたの
 関係あるよ……！！ そういうとこなんだよ……！！ 私が許せな
 いのは……！！ あんたらに対して……！！ それで外に向かつて
 芸術だ文化だを語るのなんて、本当にチャグリだよ……！！
 チャグリでしかないね……！！
 ねえ、もうやめよう……！！
 （父へ）いいよもう……
 屋根裏に「ふたりエッチ」隠してるくせに何言っつてんだ……！！
 ……！！……それ今さ
 表紙を「美味しんぼ」にしたからってそうはいかないぞ……！！
 ……や……友達がそれ……
 なにが友達がだ、なにが美味しんぼだ、お前の二枚舌で何を
 味わうんだ……！！？

母 子
だから…友達が
両方の作者に失礼だろ!!!

母、イライラしながら去っていき、寝室へ。

最悪だ…ふざけんなよ、いい加減にしろよ

母の階段を登る音が聞こえていく。
子、泣きそうだが堪えている。

子 父 子
え、どうしてあんな風になったの？ 前からだけど…

…んん

いや離婚して正解だよ

…それはな…うん…おかあさん、病気だから

…は？

いや、病気だからさ

え、あなたもなんなの？

だからさ

えそれはなにあの人が乳癌だからってことを言ってるの？

違う違うよ

なに、俺失礼なこと言っつかもだし言うけど、一回癌になった
らこんな人に人のこと不快にさせていいの!?

違うってだから

マーカーの数値が上がるから好き勝手させてろって言いた
いの？

違うよ、お前も落ち着けよ

子 父 子
いや見えてなさすぎだろ…アニメだつて作ってる中に人が
いんだよ沢山。それをなんでああいうあの立場の人が分か
つてないの!？ 終わりだろいろいろ
だから、俺たちは解つて…優しくさ
解るのも優しくするのも必要ないだろ
子、自分の部屋に去っていく。
父 ……

別空間で技術スタッフとディレクターが撮影準備を始める。

現時点で其々、

- ・声優①と②が歩いている空間
- ・母が寝ている空間
- ・俳優が立っている空間
- ・子が寝ている空間
- ・撮影ブースの空間
- ・父がリビングに座っている空間が展開している。

第四場

父と同じ動きをする（もしくは父の動きの影響を経ての動き）若父が現れる。

父、撮影ブースの空間へ。

ヘッドマウントディスプレイと、モーションキャプチャーをつける。

3Dの父の動きと連動した映像が映る。

その映像の向こう、もしくは中には若父がいる。

ディレ 今日、息子さんは？

技術 や、ダブルブッキングしちゃってこれないらしいです

父 すみません

技術 いえいえ、あ、あのお父さん

父 はい

技術 オリジナルカットしなくていいかもです。言っても

父 あ、そうですか

技術 はい、や、うちもこういう映像のやつやってるじゃないですか、で、今ちょっとそういうオリジナルの方にもアプローチしようとして、来年はたぶんこういうARとか必要になってくるんですよ。基本オリジナルピックアップって公共事業で参加したところはほぼ赤字になるっていうか、ま、前回の64年のがそうだったんですけど。倒産増えて経済成長率も下がって、でもまあそのオリジナルのドキュメンタリーの映画ができて、その映画がハねたおかげでようやく採算取れるようになったっていうか。なんで、やっぱりこういうAR？ みたいなリアルと重なる仮想現実としての映像事業もオリジナルがらみで企業にアピールしたいんで
ああー……

技術

開会式とかARできたらいいですよね

父 私からそれ、発信して企業は受け取ってくれるんですか？

技術 や企業からの食いつきもですけど、先ず人気になる実績も欲しいんで。あとはこっちの営業力ですね

父 ですか…

技術 では、お願いします

父、配信を始め、段々と、映像の中から若父が出てくる。

父

はい、好評につき、二つ目の動画を出すことになりました。ありがとうございます。ま、前は離婚はどうなったかといいますが、あ、知らない人は前の動画見てもらえばいいんですけど、手続きは…オリジナルピックアップ推進委員の妻が海外の出張から帰ってきた後に、はい。まあ、今は、こうして私、若返った気分分、お送りしたいと思います。まああの、いきなり言うど、どっちが悪いというわけではないんです。私が悪くて、悪くたっていうか…ああ結婚したのは昭和59年でして、

若父

彼女と出会ったのは大学の時で、でも先に出会ったのは、彼女じゃなくて、彼女の描いた絵で。大学図書館のロビーでやってたグループ展の中の、彼女の絵をとってもいいなと思って…透明な感じの。油絵なのに水彩みたいな。で、この絵を描いた人は誰だろうって思ってた、その絵の前で「あんたが描いたの？」って話してるその子のお母さんと、笑ってるその子がいまして

若父の目の前に、声優①と声優②が通る。

ここで声優①は若母に、声優②は祖母になる。

若父

で、跡をつけていったら、彼女が一人だけ椅子に座ってて、サークル棟の近くで…リスみたいな感じで…それをよく、覚えてるんですよ

母、ふと起きる。若母と祖母を見る。

母

お母さん

祖母

？

母

お母さん？

祖母

…どうしたの？

母

え…覚えてるお母さん

祖母

うん？

母

こっち引越してきたこと

祖母

覚えてるより、オリンピックの年でしょ？

母

そう…ごめんね。それまでどこにいたか分かる？

祖母

うん。北海道。まだあの人といた時

俳優の前を、祖母と若母が通る。

ここで俳優は祖父になる。

祖父と祖母と若母、三人で歩く。

字幕『1963』

祖母

あの北海道の家、入ってすぐは汚かったよね

母

え？

祖母

家が。みんなで掃除したよね

母

…じゃあ…歌とか…覚えてる？

祖母

ああ「この道」でしょ。北原白秋の

母

…うん

祖母

この道は…いつかきた道…
うん

母

よく覚えてるね、あんたちっちゃかったでしょ

祖母

覚えてる。みんなで歌ってたから

祖母

38年だよたしか、昭和の。翌年が39年だから

昭和38年。

北海道の新築の家。

若母と祖母と祖父が掃除用具を持ち、掃除をしている。

作詞・北原白秋 作曲・山田耕筰のこの道を歌いながら。

その様子を母も見ており。

綺麗になったね

祖母

いいね

若母は箒を逆にし、柄の部分でゴミを入れようとしている。

(それを見て)ふ、ははは！ かわいい！

ははは！ ははははは！ かわいい！

ずっと笑われている若母。

その私のそれをお父さんもお母さんも止めてくれなかった

記憶がある

だって可愛いんだもん！ なにが可愛いって柄の先っちょ

ではこうしてるから、箒の穂先の部分がね、自分でやって

るのにジヨリジヨリ顔に当たっちゃって

若母、顔に穂先を当てており、そのジヨリジヨリが嫌で。

母
祖母

親の七光りで道警に勤めればよかったのにね

うわあああー!!!(泣く)

で勝手に泣くの。「うわー!!」って叫んで

止めてよそれ

おほほほほ……!

母

…そっか

祖母、若母によしよして。

子の夢の中。

いやここまでがワンセットで可愛いの

字幕『2019』
子、ふと起きて周りを歩いている。

へー

だが上手く歩けず、祖父役と祖母役に邪魔されたりする。

祖父、あやすために「この道」を変則的に歌ったらしい。

子

あれ、これ、なんだ……

この、道は、い……きた・みおちちちち……

はっ!(笑う)

なぜかそれで笑った記憶はある

でしょ?

子、二人に絡みつかれ(物理的ではなく、気配を支配されるような)、耳元で「チャッカマン……」「チャッカマン」「トイレ!」「チャッカマン……」「チャッカマン」「トイレ!」「ハンガーノック」「アンマさん、アンバサダー」「サンジェルマン」などというペースで囁かれる。

祖父、若母を持ち上げたりして。

途中から言葉として認識できる言葉だけど夢の中で認識できている言葉であり現実では認識できない言葉が聞こえる。

おいしよー!

うわあああああ!(喜び?)

よくあんたにあれやってたよ。あの人道警の息子だから、背

も高いし力持ちだからね

そのままお父さんさ

んん?

子

あ、これ夢だ絶対……あ夢だこれ……チャッカマンとトイレってなんだ……

子、歩いて進んだ分を戻されて、もう一度「チャッカマン……」

「チャッカマン」「トイレ!」……を繰り返させられ

子

嫌な夢だこれ。覚めて、覚めて覚めて

浮いて、光るキックボードみたいなのに弟が乗ってくる。
驚く子。

子弟子

え、ええ！？

おー久しぶり

え、えええ！（泣きそうになるが、興奮し）

絡みついていたと思われるものがその場で寝てゆく。

やー…

おお…おお、え、久しぶり！（興奮）

いやいや…

え、えええ、超久しぶり！ えええ（泣きそう）

どうすか？

ええ

最近どすか

最近…ちよつとえ、ダメだ夢から覚めそう！ あの、先にそ
つちの近況教えて！ あの、いいい、いけ、あえ、いい行け
た！？ アニメの世界いけた！？

いけたいけた、楽しい

ええ、マジで！？（興奮しっぱなし）

3Dキャラの映像に友人が重なり、

子

おおお！！

子弟子

でもなんか、やっぱりイメージと違った
でしょうね！

ちよつとあの、ここで話してもたるいから、連絡先教えて
もいい？

え連絡…連絡？

ちよつとあの…（家の柱のようなところ）ここに書くから
いやこれ夢だから覚えられないって！

連絡して連絡して

だから夢だから覚めたら連絡先忘れちゃうでしょって！
え、どうしよ、なんか方法ない！？ 覚めてもその、覚えて
る方法！！

ちつと…じゃ、言うわ口で

いや、絶対覚える！ 絶対におぼえるから！！

言うよ？

早くして、覚める！

（言葉が聞こえない）

うん、覚えた覚えた覚えた！！ え、まって待ってダメだ、
もう一回言って！ 覚えるから！ もう一回言って！！

連絡して

待って待って待って待って！！！！

子、寝ていた場所に戻される（自分で戻る）。

起きる。

子、覚えておらず、うなだれる。しばらくして歩き出す。

弟役の人を見かける。

その人にふらっと着いていく。

第五場

北海道の家にて。

祖父が起きて、祖母と話す。

母はそれを見ている。

字幕『1963』

東京？

うん

東京で…したいの？ その、美術の仕事を？

まあ、オリンピックがあるからさ、その公共事業にもなりそ

うだなって。宣伝でいろいろ絵を書いたりね

それお義父さんお義母さんなんて

それやりたいって言ったら勘当された(笑って)

そっか(笑う)……や、でもさあ

だから、これから事業の立ち上げで忙しくなるから。お金

も、うん自分で

若母、話している様子を起きて見ている。

祖母 うん……わかった……本当にそうなのね

祖母 うん

祖母 本当にね、やるのね

祖母 うん

母 あの時、なんで納得したの？

祖母 (母へ)……私も、東京行きたかったってのもあるけど

母 うん

母 姑さんがね、キツツくて……

母 あく、私にとってはニッコニコだったけどね

祖母

ん……この先もあんなのが側にいるとね……あのなんでも律するあれは遅れている田舎の軍国主義の名残かな

母 孫には優しいのね

祖母 だったら東京だよ。東京でも当然あるけどさ

東京へ越してきた祖父と祖母と若母。

着いていく母。

賃貸の部屋に入る。

ここが新居ね

祖母 歌ってなかったよね、掃除する時

母 ああ「この道」？

祖母 そう、東京きて。北海道のより部屋がもっと汚かったし

掃除をしている祖父と祖母と若母。

祖母 なんか歌う余裕なかったね

母 そう

祖母 もう、あの人も忙しくて帰らなくなっちゃってたし。本当に

忙しかったのかは疑うけど

祖父、外に出ていく。

若母 お父さん？ お父さーん！

祖母 ああいう、一匹狼っていうか、孤高の芸術家じゃないけど、

母 そういう……周りと違う部分に惹かれたんでしょうね

祖母 けっこうな後悔？

母 ……

若母 帰ってこないね、お父さん
 祖母 うん…（母へ）覚えてる？
 母 何を
 祖母 東京の美術館連れてったらす、ずっとずーっと、見て回ったの
 若母、何枚もの絵画を観て回る。
 母 うん、帰ってこないお父さん待つのを忘れられたからね
 祖母 …でもま、結局あんた結婚してよかったよ
 母 え、そう？ 私も酷いよ
 祖母 酷いって言うって（笑って）
 母 そりゃ酷いって（笑う）子供も生まれてからも。あの子もな
 祖母 んか学校で結構いじめられてたらしくて
 母 え？
 祖母 あの子が
 子の高校での空間。子と弟はジャージ姿。
 母、視線の先には子と弟がいて。
 字幕『2009』

子 おお…
 弟 おお…
 母 であま同じく結構いじめられてた子と高校で仲良くなった
 子 なんだって、似た者同士
 弟 俺が弟だって
 子 まあ、俺の方が身長でかいし
 弟 なんて俺のあだ名弟なんだよ

子 は、弟よ、兄と呼べよ！
 子、弟の肩を叩く。
 子 いやーでも、俺の方が経験の差が全然違う、全然
 子 だよ
 子 いやー俺の方がひどいじめ食らったから
 子 いやお前舐めんなよ、俺のくらったいじめを
 子 ふ、だっさ
 子 なんだだっさって。俺は中学までいじめ抜かれたからな
 子 じゃ勝負するか？ 追い詰められたレベルで勝負しようぜ
 子 だよ
 子 お前先行ね
 子 なんだ卑怯だなお前…でもね、意外に辛かったのは小学
 子 校の時かもしれない
 子 え、中学じゃないの？
 子 小二の時にさ、テントをロープで固定する杭みたいなやつ
 子 で膝のお皿ガツてやられて
 子 …まあ、そここの経験だね。Bランク+（プラス）ぐらい。
 子 親とか心配してなかったの？
 子 いや、相談しづらくて。両親喧嘩ばっかしてたから
 子 そうなの
 子 家の中。
 子 ツインベッドがある。
 字幕『1998』

父 お母さん遅いから、先寝ようか

母と父がベッドにおらず、

第六場

ね、だよ。で、ようやく寝れただけど、しばらくたって起きたらさ、二人がいなくてさ。で、リビングで

母が父の膝で泣いている。
そして父があやしている。
それを子が隠れて見ている。

母と父の様子と重なるように、
若母が祖母の膝で寝ている。
字幕『1965』
東京の祖父と祖母と若母の家。
取り立てが来る。ドンドンドンと叩く音。
若母と祖母、息を殺している。
取り立て、無理矢理入ってくる。

子
え、そっちが泣くのって

取立①
旦那さんいる？ 今日？

父も泣いている。

取立②
……聞こえてる？

(父を指して) そっちも泣くのかよって

取立①
いないのね今日も。金ある？ あ、ないね

子
泣き虫だなお前の家族
だからまあ、それほど辛かったのになって、仕事
ああ……

祖母
取立②
じゃーはい。行きましょ
……

取立①と取立②の役が歩いてくる。

祖母が立ち上がり、若母をその場に残し、取立①と取立②に着いていく。

(コソコソ) やべえ怖い人たちが来た
あっち逃げよう

取立①と取立②に捕まり、見えなくなる。
その先を見ている若母。しばらくして椅子に座る。
時間が飛び、若母の前に椅子に座った若父がいる。
若母、小さいキャンバスを持っており。

へー
ローソンは近くに寺があると、なお治安が良い
どうやって調べてんだ

その様子を父が見ている。
字幕『1984』

子
弟
弟
弟

字幕『1984』

若母

まあ、だからそれで…オリンピックがあつてから、父がそういうことにもなつて。で、うちは金もないし。ちょっと、お母さんもそんなね…だからごめんなさい付き合えないです…それを踏まえるというか、あ、むりかな？

若父

無理…ん…

若父

…それは…どうしても…俺が支えというか…

若母

うん……こんな、会っていきなり似顔絵をプレゼントしてくる人、ちよつと…全然似てないのも

若父

あ……だめ？ 僕も、あなたにならつて絵を描いてみたんですけど

若母

しつこい…

若父

告白、最初は失敗しましたね、告白。あの…この時の妻は、青山学院大学の夜学に通つて司書で働いて、御茶ノ水美術予備校に通つてたつていうのを……初めて話す前に、先に調べてしまつて

若母

正直、怖いですよ？

若父

ごめんミスつた、ちよつと歩きましたよう

若母と若父が歩いていく。

その後を頷く父が着いていく。

若父

でもまあ、その後は一緒に美術館とか回つてくれました。モネとか…ゴッホとか…シャガールとか…メアリーカサットとか…彼女の方が詳しくて。で、一緒に演劇サークルで演劇もやつたんですよ

若母、脚本を出して若父へ。若父が読む。

父

彼女が書いて、で、私が読むみたい。まー彼女の書く話が、綺麗でして。彼女の書く男性って、女性みたいだなんて思つたんですよ、初めて読んで。それが綺麗なのか分らないんですけど、多分。なんで私はそういう男性、いや女性の部分を妻の前で常々演じようと思つたんですね、その時は

若父

将来、どういたしますか？

若母

言葉遣いどうした？

若父

あ……こういう、素がこうだから自分は全然違うね昨日と

若母

いや、女性的な部分が素からあつてん女性的な部分ってなに？

若父

え、だから

若母

その部分って、敬語？

父

この時からしまつたと思ひましたね

若母

わかんない…わかんないわかんない

若父

じゃああの、どうすんの、どうすんの

若母

え？

若父

将来、どうすんの、タメ語

若母

タメ、口ね

若父

うんうん

若母

…公務員かな……公務員しかない

若父

公務員

若母

うん、どうにかしたいから、いろいろ

若父

ああすごい

若母

でも本当は公務員とかじゃなくて、仕方なくとかじゃなく

若父

うん

若母

なりたいものはあつて

若父

おお、うん

若母 こういうやつぱり、物語書く仕事に就きたいよね。演劇でも
いいし、絵もいいし、芸術がしたい
若父 ……そっか
若母 まなんとかしたら、家をなんとかしたら。そのあとにしたい
若父 結婚したらしやすくなるかも…
若母 は？
若父 結婚したらしやすくなるよそれ。二人の方がいいってああ
結婚してください、結婚しませんか…同情とかじゃなくて
…好きなんですね。結婚していきましよう…！
若母 あの…
若父 ちよつと歩きましょう
若母 困ったら歩くというのが私の癖でした
父 いろいろと急だよねあなた
若母 そして立教大の近くとか、西新井大師の前とかよく歩いて
いる内に、なんだか結婚の方に向かっています
母 急だなー
若父 結婚式はいつがいい？
若母 ーいつにしようか
若父 ねー
若母 それもだけど、お父さんをね、来させたくて結婚式に
…うん
若母 お母さんがお父さんと会ってくれるか分かんないけど
若父 でも…会ってくれるんじゃないの？ 特別な式だし
若母 そっか
若父 俺も呼ぶの手伝うよ、お父さんのこと
父 妻といると、自分が特別だと思おうようになってきました

別空間でランニングしている子と弟。
字幕『2010』

子 ちよつと先いかないで、ジヨグでしょ今日のメニューは
弟 先行くわ
子 置いてかないでよ
弟 あ、練習終わったら二人でエロ本買いに行こうぜ
子 え…や俺買ったことないし、親にバレたら超やだよ
弟 大丈夫大丈夫、表紙をね、美味しんぼにすれば大丈夫だから
子 美味しんぼ？
弟 うん。バレた試しがない
若父と若母を発見し、
弟 あ、あそこにカップルがいる
子 あら。うわー、恵まれてんなあ
弟 かー
子 ダメージだわ
弟 じゃ、ちよつとさ
弟、シャボン玉を取り出して、
子 シャボン玉使って演出してやろうぜ
弟 なんて持ってっんだよ
子 ローソン、シャボン玉売ってんの
弟 へー。え邪魔すんの？
子 俺の吐く息で幸せを届ける
弟 うそつけお前

弟、遠くからシャボン玉を吹く。

弟 全然届かない届かない
子 遠い遠い
弟 ちよつと近くでやって

弟、子にシャボン玉とストローを渡し、

子 ちよつと任せろ
弟 気付かれた方の負けだから
子 勝手にルール作って

子、かなり近づいていく。

弟 近くない、近くない？
子 次お前もつと近くだからな

シャボン玉を吹く。
若母と若父に見つかる。

若母 (シャボン玉にビビって) ワアッ!!
子 やばいやばい!
弟 逃げろ逃げろ

逃げていく子と弟。

第七場

子と弟が逃げた後の空間。

子 ふふ…一矢報いてやったぜ
弟 ナイスナイス。やゝ、空気が気持ちいい!
子 なにそれ。

空気が気持ちいい!

いいよそれもう

マジ、交際相手がいるとか、ただで勝ち組だよな

え、お前は付き合ってる人とかいた? 中学の時

いた

嘘つけよ

いない

わー正直

すげー女子に避けられてたもん。なんか主犯格のやつが女子とかに悪い噂して。俺が給食係の時に、給食のサラダにかけるドレッシングの口のところが俺が舐めましたとか言いだして、舐めてないのにね。したらもうみんな「おえー」とか「最悪ー」とか、トイレに行く女子とかもいてさ

うわーわかる、俺もあつたそれは

すごいよね、みんな信じちゃったもん。クラスの女子が先生に「ウチ、サラダ食べたかった!」とか言って、もう周りのクラスに広まるしさ。んでそのサラダ食べたい女子のヤンキー彼氏とかに裸にされてちんちんにクレンザー振りかけられまくってサンポールもかけてグリグリ混ぜちゃうからさ、痛い痛い、混ぜたら危険危険(笑う)でも生き延びましたわ(笑う)

…ほお…やるじゃん

弟 子 弟 子 弟

いやまじベトナム帰りに匹敵しますわ（自慢げ）

それ追い詰められたレベル高い

いやでもね、掃除の時間とかが結構辛かった

掃除？

うん。みんな掃除してんだけどね、俺の机の周りだけ絶対掃除しないの。みんな掃除するために机を前にガツと押してくじゃん。でも俺の机だけそのまんまなの。避けて。でも俺もクラスには貢献したいじゃん。貢献して、馴染むっていうか、こっちは馴染もうとしてますよってことをアプローチしたいじゃん。だから率先してさ、ちりとりとかすぐ持つてくんだけどね、誰もゴミを入れようとしらないのよ。俺のちりとりに。俺の机にさ、はいちゃってんのよゴミを。したら俺の机がより汚いみたいになってさ、さらに悪化するわけよ。逃げれなかったわ。視界がキューってなってさ、自分の居場所が机しか見えなくなってる。でもそれをみんな笑うからさ、分かんなくなってるさ、いろいろ
そうなんだよね、それってね
やー：レベル高いっしょ？ 上には上がいるでしょ
やー下には下がいるって感じ

弟、シャボン玉を拭きながら。

子 弟

ふふ…せめてお前ん家に生まれたかったわくせめて
いやいや

若母、若父、母の空間。
祖母が来る。

字幕『1984』

祖母
若父
若母
若父

ご結婚おめでとうございます

（緊張）ああ…ありがとうございます
娘をよろしく願います

あ、こちらこそ、願います

祖父が訪れる。

ずっとその場に立っている。

母

お母さんはさ、結婚式にお父さん呼んでよかった？

祖母

いや、二度と会いたくないって思ってたけど…ずっと突

母

っ立ってるからさ、式場の前で。今日だけだっと思ってたよ

祖母

そっか。確かにずっと立ってたもんね

母

約束したの

祖母

なんて
今日だけだっ。結婚式が終わったら、二度と顔を見せない

母

でっ

祖母

…あの時、お父さん来てくれて、正直嬉しかった

母

そっか

祖母

でも、許せないでしょ、お母さんは特に

母

そりゃそうだよ

祖母

だからお父さんがあんならなければどうなってたんだろう

母

って。ま、他の家族はこうなって欲しくないって思ったんだ

祖母

よね。辛いもんだって

母

そうだね…

祖母

だから今の仕事になれて良かったって。それはすごく思う

母

祖父が去っていく。

祖母

(子と弟の方を見て) あ、ずいぶん大きくなったね

子とその空間に入ろうとするが、先に弟が入る。

弟が若子になる。

字幕『1998』

子

ちよつと

若子

今から俺お前になるわ

若父

僕も公務員として働くことになって、妻が美大受験を予定していた年に、子供が生まれたんですね。それで退職せずに妻は引き続き役所で働くことになり、妻の母とも一緒に暮らすことになりました

若子

母ちゃん怖いんですよ？

子

俺が生まれた時とかはめちやくちや優しかったけどね

若子

そうなの？

子

うん。赤ちゃんの時とか鼻水うまく出せないからさ、鼻に口つけて吸ってたもん。「吸うんだ！」って思ったって父ちゃんが言ってた

若子

すごいね

子

いや、でも厳しかったわ。よく引つ叩かれたし。特に仕事から帰ってきた後は…よく酔っ払ってた時とかがね

若父

それから、妻はだいたい役所での仕事が忙しくなりまして、

若父は若子を寝かしつける。

若父

おやすみ

おやすみ。お母さんは？

若父

うん、後で寝るから。先寝てていいよ

夜、リビングで酒を飲み、泣いている若母。

若母

なんでうまくいかないんだ…うまくいかない…

若父

…大丈夫？

若母

はあ…頼りすぎだろ、私に私たちに。自分でもどうにかできる部分はあるでしょ…なんで全部私たちがやんなきゃなの？ ふざけんなよ…なんで口だけであんな偉そうにできるんだ…なんでこっちの事情を無視すんだ？ 頑張りたくても頑張れない人もいんだよ…今の時代おかしいぞ？

若父

…何かされたの？

若母

頑張ってる職員を救えなかったんだよ私は、クソ威張ってるあいつらから

若父

…あいつらって？

若母

ボケ野郎共だよ

父

妻の言語感覚も変わってきました。全然寝れてもなかったからかもしれません

若父

どこで覚えたのそんな言葉…

若母

ボケ野郎から覚えたよそんなの。ああ、あなたもさ、ボケ野郎みたいに威張るのはやめてね、この前、家にあなたの同僚が来た時、仕事帰りの私に「おーい、酒まだ？」って言ったよね。それ、レッドカードだから、本当に…!!

父

この時はファイア、ワールドカップが流行ってました

若母

(声が震えて) 私の同僚の旦那さんもね…家で威張りちらして…相つつっ当、ストレス溜まってるから…!! そ

いつもレッドカードだ本当に！！ 本当にチャグリだね、チャグリ！

子 気になってたんだけど、チャグリってなに？

父 なんかね…あの人が勝手に作った言葉

子 作ったの！？

父 調子乗ってるとか、偉そうにしてるみたいな意味

若父 …休んだら？ その分俺が仕事頑張るから

若母 休むとか休まないの話じゃないの。変えなきゃなんだよ、今

を。今の立場じゃだめだ…管理職にならなくちゃ私が…
あなたもいろいろお願いね、あなたが働いてる区のこと、
家のことも？ また花壇の花に水やってなかったから！！
…ちよつと待ってて、俺も仕事頑張るし、水は、あげるから。
あ、キャベ玉も作ってあげるから。マッサージもする、後で

若父

若父はキツチンへ。

キャベ玉を作る。

若子 なに、キャベ玉って

子 キヤベツと卵を混ぜただけのやつ、母ちゃんの得意料理。す
ぐに父ちゃんの得意料理になったけど

父 キヤベ玉を作ると、妻はかなり喜んでたんですね。ですが
この時から…

若父、キャベ玉を持ってくる。

若母、テレビでシャ乱Qの『いいわけ』を聞いている。

若母 ありがとう、つくくみ

父 シャ乱Qのつくくみにめちやくちやハマるようになり、

若母 つんくみだけが救いだわ

若父 つんくみを追っかけるようになりました。そしてつくくみ
がシャ乱Qを辞め、モーニング娘。を立ち上げた時も、

若母、モーニング娘。を見て。

若母 モー娘。になら、なってもいいな

父 つんくみのすることにとんだん惹かれていました。私
は正直、妻を虜にするつくくみに対して…（口をぎりぎ
り）嫉妬するようになってしまいました…くやしいうっ、
憎きつくくみ！！

若母、家を出ていく。

若父

（怒り）自分が妻を支えられていないような不甲斐なさも
ある気がしましたが「俺よりつくくみかよ」って…っていうか
つくくみの「く」の後の男記号ってなんだよ…って。モー娘。
の娘の後の句点はなんだよって…俺よりモー娘。かよって。
っていうか、俺の仕事の悩みには、全然あなた乗ってくれな
いよねって。話せない空気だったよねって
妻も自分も、仕事によって変わっていくのを止められませ
んでした。そんなある日、

若父が電話をかける。

若父 あ、もしもし？ 今日も帰れない？

若母 もうだめだ…

若父 ちよつと、どうしたの

若母が帰ってくる。

若母 (泣いている) ただいま

若父

…
(強く) ただいま!

若母

…
若子、唾を沢山飲んでしまう。

若母 ねえ

若父

…
ねえ!!

若母

…
寝たふりしてるでしょ

若子

!!!
挨拶してよ。ただいまって言うてるんだから

若父

…
全部分かってるから、分かるんだよそういうの

若母

若母、若子の隣で横になる。
若子の背中の辺りを片手で抓り上げ、段々力を入れていく。

若子

…おとうさん、おとうさん!

若父

… (寝たふり)
(若父に助けを呼ぶ) おとうさん?

若父

ぐう…
(心の声) おとうさん!! (泣く) ううう!

若母、泣くと抓りを止める。

若母 …ごめん、ごめんなさい…

子 とぼっちり受けてないこれ?

若子は寝たまま。

若父がリビングへ行く。

若母が追ってくる。

若父 …仕事大変だった?

若母、若父の膝の方へ。

若母 あなたと間違えて… 抓っちゃった… (泣きそう)

子 ええ??

若母が若父の膝で泣いている。

そして若父があやしている。

それを若子と子が隠れて見ている。

え、間違えたの? 嘘だろ!?

若父も泣いている。

若父、覗き見ている若子に気づいて、

若父 (若子へ) お母さん… 大変だからさ…
あなたもね

若母 ごめんなさい……本当に……
若父 ごめん……やりたいことさせてあげられなくて……

若子、若母と若父が抱き合い、弄り合うように見える。

若子 ……見たくないものを見た
子 (父と母へ) おい!!!
父 実はそういうことだったんだよね…
子 本当かそれ!?

第八場

朝。若父と若母はすっきりしている。
以下の様子を母が見ている。

子 いやめっちゃすっきりしてんじゃん
若父 じゃあ、お父さんとお母さん、仕事行ってくるから
若子 ……いってらっしゃい
若母 洗い物とか、ニコニコおばあちゃんにやらせないでね
若子 うん
祖母 いってらっしゃい

若父と若母が仕事で家を出る。

祖母 ……昨日、喧嘩してた?
若子 うん
祖母 そっか……喧嘩してるとことか見せないでほしいね…
若子 うん…

ピンポン音になる。

祖母 はい

祖母が玄関へ。
ドアを開けるとみすばらしい格好の祖父がいる。

祖母 ……
祖父 おお
祖母 ……

祖父 おお、おお

ドアを閉めようとする祖母。

祖父 待って待って

ドアを止めて中に入る祖父。

祖母 何しに来た!!

祖父 どう? 大きくなった?

と言って、リビングの方を向く祖父。

祖母 入るな!

祖父 いや会わせて欲しいだけだから

祖母 帰って! いいから!!

祖父 帰れないよだって(少し笑って) お金ないもん、何も持ってないもん

祖母 何してんだよ、来るなって言ってるだろ何度も!

子 すぐ喧嘩してるとこ見せたね

若子 うん

祖父 いいだろ孫の顔ぐらい見るの

祖母 くるな!!

祖父 あの子も元気? (進む)

祖母 そこで生まれ! 進むな!

若子が見えるところまで覗く。

祖父 おお、大きくなったね! 一緒に学校行こう!

祖母 (若子に) 下がって、こっちないで!

祖父 おじいちゃんだよ!

祖母 やめろ! 話すな! 進むな!

祖父 こっちおいで

祖母 出て行け早く!

祖父 よし、一緒に住もう

祖母 帰る家なんてない、お前に! 絶対もう来るな!

祖父 あるよここが

祖母 ない!

祖父 あの子は愛してくれてるからなお父さんの俺を

祖母はキッチンへ行く。

祖母 (祖父へ) 動くなよ! (若子へ) 動くなよ!

祖母が包丁を取り出し、祖父と対峙。

若子 !!

祖母 帰れ、いいから!!

祖父 考えてること同じだ…

祖父も懐から包丁を取り出す。

祖父 そっちがその気なら俺もな…

祖母 ふざけるな

祖父

祖母、祖父の包丁を持つ手を掴む。

祖母

祖母、祖父の包丁を持つ手を掴む。

そのまま取り合い、玄関の外へ消える。
若子、恐る恐る、二人が消えた方を見ている。

若子
……

しばらくすると二刀流になった祖母が戻ってくる。

祖母
奪ってやった……
強い……

祖父が遅れてくる。

祖父
返して

祖母
(包丁に対して)何か持つてるじゃない!

祖母
それを売って金にする予定だったんだ

祖母
金になるか!! 警察呼ぶから! 生まれ二度とくるな!

祖母
殺されてもいいこと、あんた私たちにしたでしょ! 本当

祖母
に、殺したい、私はあんたを!

祖母
うん、殺していいよ。殺せよ。お前に殺してもらうのが今、

祖母
一番楽だ

祖母
(若子へ)学校行って! 裏から学校行って!

祖母
若子、逃げるように学校へ行く。ついていく子。

祖母
祖父、祖父に連れてかれてゆく。

祖母
ここまでの様子を母が見ていた。

祖母
母
………なんでなんだ(目頭を押さえている)
……ごめんね

母

ううん……お母さんが謝らないで……

若子は弟の役に戻る。

なんで帰ってきたの、おじいちゃん

お金をせびりに来たっておばあちゃんが言ってて、

ああ……

でも本当は……お母さんが言ったのは、一緒に住みたい

から帰ってきたって

……結局その後どうなったの?

全然その後のこと教えてくれなかったんだよねー、おばあ

ちゃん

へ……

ところでさ、

ん?

お前大学どうすんの?

ああ、どうしようかな……

うん

……いや、大学楽しみだよ

ああ、うん

大学はさ、別に中学とか高校と違ってダイレクトないじめ

とかないじゃない

まあねえ

でも、隠れたところでの上下はあるじゃん

まあ……言わんとしてることはわかるような気がする

怖いわ

ん

未来怖すぎ

母

…いい？

母、部屋から出て行く。
母と祖母、寝る。

第九場

若母、リビングにいる若父との会話。
父もそばにいて見ている。
字幕『2009』

若母

いい？

若父

ん、なに？

若母

ちよっと、こっちに

若父

……

若母

あのね、胸に癌が見つかって

若父

……

若母

まあ、これからいろいろ迷惑かけるけど、よろしく願います

若父

……

長い間。

若父

……ごめん、尋ね方が変かもなんだけど……働きすぎて

若母

そうだったってこと？

若父

もちろんそれだけじゃないよ……

若母

そっか……そっか……

父

通院とかこれから結構しなくちやならなくなるから

この時、何故だか妻が「好きになっちゃった人がいる」って
言った時のことを思い出してしまって、どうしても、悲しい
んですけど、どうして自分だけ、こんなに我慢しなきゃなら
ないんだと……で、妻の父に会いに行きまして……

若父、祖父の近くへ行く。

競馬場にて。

祖父 ……ああ、お義父さん

祖父 おお、久しぶり！ 会ってくれてありがとうございます

祖父 いえいえ、やっぱり府中はいいですね

祖父 ねえ

競走馬が目の前を駆けていく。

祖父 おおー、やっぱり最近の馬はいいね

祖父 結構やられるんですか？

祖父 やりますよそりや。俺の同僚とか仲間とかはねえ、ゼーんぶ

祖父 カブトシローに殺されたから

祖父 そうなんです

祖父 そうですよ、昔は今と違って賭けるのは命がけだったから。

祖父 でも全部ダメになっちゃった、俺も

祖父 そうですか……

祖父 実家に頼ろうと思ったんだけどね、勘当されちゃったから

祖父 なんて……なんで東京で会社立ち上げようとしたんですか？

祖父 ああ、あの時オリンピックがあったから。稼げるよって、こ

祖父 っちの仲間が誘ってくれて。でもダメで、そいつも最後の最

祖父 後でカブトシローの餌食。あヒシヤクシンだったか、うん

祖父 ……もう、僕たちの家には来ないんですか？

祖父 ……競馬やめたら帰るよ

祖父 あの……僕の妻が……

祖父 ん？

祖父 妻が

祖父 おお、あの子がどうした？

祖父 ……ああ、いえ

祖父、祖父にお金を渡す。

祖父 え、なにこのお金？

祖父 妻に会いに来てください、そのお金で

祖父 え、なんで？

祖父、封筒の中身を確認して。

祖父 こんなに？ え、どうして？

祖父 妻に。どうしても会いたいなら来てください

祖父 え、いいのこれお金もらって

祖父 はい。使い方は任せるんで

再び、競走馬が目の前を駆けていく。

第十場

祖母が寝ている。
祖母の夢の中。
取り立て①と②が出てくる。

祖母 …ごめんなさい、お願いです許してください

寝ている祖母を取立①と②が振り回す。

祖母 やめてください、お願いです許してください、助けてください、助けてください、勘弁してくださいもう許してください

うなされる祖母。

うなされている祖母に気がつき、母が起きる。

母 …お母さん？

母、祖母が寝ている元へ近寄り、

母 お母さん！？ 大丈夫お母さん！？ お母さん！！ お母さん！！

祖母、起きる。

祖母 …ああ……あああ……

母 大丈夫？

祖母 うん…夢……こわかった

母 そうだね…こわくなかったらそれはそれでこわいもん

祖母 ああ、水って、いい？
うん、もちろん

母、水を持ってくる。祖母に渡す。
祖母、水を飲む。

祖母 ああ…ありがとう……

うんうん…

祖母 ……やっぱり、あの人のこと許せない

……大丈夫

あなたには悪いけど

母 大丈夫だから……

弱った祖父が寝ている。

病院にて。

病室に入る母。

母 ……失礼します

おお

祖母 お父さん………

………いつぶりだ？

結婚式以来

ああ…お前変わったね

変わるよそりゃ

どうして会いに来た？

いや、死にそうだって聞いたからさ、お母さんから。今病院

にいるって

祖父 あいつは来ない？

母

……違う…いまこれだけの理由だけで感情的になつてると思つてるけどね、これよりもっと沢山の理由があるからな、あんたには…花壇の花も枯らして…水もあげないで…そういう分かつてないところはなんなんだよ…

花壇でなんだよ…

……それだよ…いい加減にしてって…え、どうして…

…お父さんの死に際に会わせるようなことにさせたの？

それは…わざとそうさせようとはしなかったよ

でもこうなつたんだよ。結局こうなつたんだよ、あなたの判断で…もう会えないしね、もう…お父さんとは…

祖父が遠くで歩いている。

……そろそろ、定年だよな？

…それが？

もう…あなたといつても、自分を特別と感じないかもしれない、感じない

……

…定年したら、あなたもこの先いろいろ考えて

……

いろいろ考えるから私も。そろそろ自由に生きたいから

祖母が遠くへ歩いていく。

その様子を母が長く見つめる。

長い間。

祖父と祖母同様、弟が遠くへ歩いていく。

第十一場

弟の家にて。

字幕『2013』

子

失礼します

弟母

ああ、どうぞ

弟父

ありがとう

子

ああ…いえ…

子、リビングの机に座る。

弟父

大学の方はどうですか？

子

あ。美大に進学しまして…毎日作ったり…あと演劇とか

弟父

やってます

子

そうですか

弟母

…はい

子

あの…あの子は、いじめられてたんですか？

弟母

あ……はい。でも高校に上がった時は……そんなことはな

子

かったんですけど、まあ間接的というか、本人が「悲愴感」

弟母

っていうあだ名を付けられていることにはとても…嫌がっ

子

ていたというか…

間。

子

大学とかは…どうだったんですか？

弟母

…入学式で、足が全く動かなくなつて、それから通わなくなつて……で…書いてあったものには、過去にいじめてた人

の子の前とか、あなたとの、高校での出来事とか……「死ねばアニメの世界に行ける」と書いてあって

上
司
はいはい。まーうちはユーチューブとかの作家とかもやつてもらったりするから、
子
……わかりました

弟
父
……気付きませんでした

弟
父
でも気付いたところで、なんと言えればいいのか……すみません……

弟母と弟父、去っていく。

場所は、作家事務所となる。

字幕『2017』

上
司
ああ、お待たせしました

子
ああ、ありがとうございます

上
司
じゃあこちらが、事務所に入るための契約書になるんで

子
あ、ハンコを

上
司
そうそう、割印でお願いね

子
はいはい

上
司
へー美大出身なんだ

子
あ、そうです

上
司
まー芸術だけじゃ食えないからね、絵とか書かないの？

子
いや、まあ……やりたいですけど……主にやっているのは演劇ですね

上
司
あれは？

子
アニメとか書ける？

上
司
……アニメ、ですか？

子
そうそう

上
司
……やります、アニメ

第十二場

東京都内。

会社の43階の動画撮影ブースにて。

字幕『2019』

父、ヘッドマウントディスプレイとモーションキャプチャをつけており、

父 それで今日が、妻が海外から、オリンピックのための視察を終えて、家に帰ってくる日です。この後は家に帰って、妻と会う予定です

ディレ はい、ありがとうございます

父 ……

ディレ 収録完了です。これじゃあ、あとは編集しますんで

父 ああ、あの。やっぱりこれ、動画公開するの止めてもらっていいですか？

ディレ ……はい？

父 ちょっとやっぱり、不愉快なんで。息子がいないところで言つて恐縮なんですけど

ディレ いや…それなんですけど…これが今日、最終回です

父 ……ええ？

ディレ ちょっとやっぱり、動画の再生数が伸びなくて…今日で打ち切り…で、チャンネル自体も削除なんで

父 あ…わかりました…

ディレ あっ…もしかして踊ってみた系のダンスって練習しちゃってました？

父 ああ…はい

ディレ すみません…それは…仕事なんで…またの機会に…あ、はい

ディレ

技術

父

お疲れ様です

お疲れ様です。じゃあオリンピック、がんばりましょう！
…はい、お疲れ様です

父、家に帰る。

家のソファに座り、母を待つ。

鍵の音がする。

子が帰ってくる。

…おお

うん

帰ってきたの？

うん。なんか聞いたよ、ユーチューブのあれ、もう終わっちゃうって

そうそう

本当に、ごめん…

いいよ。もうああいうのはしないから

うん…

…そろそろ、あの人帰ってくる

…

やっぱり顔出す？

……うん

鍵の音がする。

母が入ってくる。

……（周りを見て）

おお…

母 海外から戻りました
 父 おお…どうだった？
 母 為になりましたよ。私にとっても、一緒についてきてくれた
 父 ハリウッドを目指す俳優の人も。変わるね、海外やはっぱ
 母 り考え方が
 父 そうか
 母、一瞬子を見て、
 ……
 ……
 母 じゃあこれ、書いてください
 母、離婚届を父に出す。
 ……
 父 ……ああ
 父、離婚届を書く。
 書き終わるまで時間がかかる。
 ハンコも押す。
 書き終えて、確認する。
 父 はい
 父、母に離婚届を渡す。
 母 はい、受け取りました
 ……

母 父 母 父 母 父 母 父 母
 ……
 母 これからお互い、許せることになる？
 父 許すとか許さないとかじゃないからもう
 ……なんでそんな選択したんだよ
 ……
 母 こうなるなら初めから結婚しなきゃよかったじゃん
 (子に) ねえ…今は怒らないでさ
 (母に) あなたもさ、自分の母親と父親が喧嘩してるの嫌で
 しょ？ それなのに同じことやったよ？ 自分が嫌だっ
 て思ってること、他人にやったよ
 ……
 母 じゃあどうい話なの！？ (母に) え、嫌だったでしょ、
 だって！ 自分の親が喧嘩してるところを見るの！ あな
 たの、あなた自身の話だよ、あなたの母と父のことを言っ
 てるんだよ、それを分かっているのになんでやるの！？
 ……別にこうなろうと思っただけじゃあないよ。私
 のお父さんもお母さんもそう。それを踏まえての話だから
 え、あなたは踏まえてんの？
 父 私は踏まえてるよ
 母 いやあなたが踏まえてても俺が踏まえてないんだよ。全
 部いろんなものを無視してるんだよあなたはいつも。最
 後だから言うけどさ、あんたさ、あん時さ、酔っ払って分
 かんないかもしれないけど、あんたがああやってバカにし
 たアニメだってな、もしこうだったらよかったとか、それを
 見て友達同士で楽しんだり楽しんだ時を思い出したり、も
 う死んでるやつも楽しんでるかもしれないって思っただけ
 なんだよ、書きたくて書いてんだよ！ あなたが絵画好き
 になったように、アニメを好きになった人もいるんだよ！

それを分かりもしないで仕事はどうだこうだよく言えたね!?

母 ……それが競馬!? 競馬のアニメ!?

子 ……そうだよ

母 そういう分かっていると悪い込んでるのに、分かってないところに腹が立つよ! 私の仕事のこととかね、お父さんとお母さんのこととかもね、そういうことも全部踏まえてのこういう決断をしてんだよ!!

子 すぐそうだよな、全部跳ね返すよな、あんた! それでオリピックの委員会とかよくやれるね!? そりゃいろんな人が批判するわけだ!! あなたみたいな、そういういろいろ押し通す人が仕切ってたんだからさ!!

母 (込み上げて) ……なんでそこまで言われなくちゃならないの!?! ……もう二度と……もう二度と自分やお父さんやお母さんみたいな大変な思いしてもらいたくないから、やってるんだよ!! ……だから私は仕事をしてんだよ!! あんたも大学に行かせたでしょ!?! 美術も演劇も、わたしのやりたかったこと全部今やってんだから、あなたは! やりたいことやれてるんだからさ!! ……それなのになんでそこまで言えるの!?!

子 だからって好き勝手言ってる人のこと不快にさせていいわけないんだよ、自分だけ正しいと思って! 俺を殴って叩いて抓って、あんたが今まで俺に「こうなってほしい」ってことをずっとしてきたから、俺もあんたに「こうなってほしい」ってことを返してんだよ!!

母 じゃああんた嬉しいか!? こんな母親で! 私はあるたのそういうアニメとか自分の親とか、その父親とかを使っ

な口で表現してますとかいってるのも中途半端で嫌いなんだよ!! ……芯がないのがさ!

母 ……なんで人のやりたいことまで否定するの?!

子 否定じゃないよ好みじゃないって言ってんの

母 好みじゃなくてもさ! 俺は、俺は……あなたの……あなたのさ辛うじて子供なのになんでそんなに嫌うの……!?! 嫌ってないよ、判断してんだよ! ……なんでもかんでも、やりたいようにやらせてたら……取り返しのつかないことになるんだよ……私のお父さんがそうだったんだよ。だったらそれを止めるのは家族じゃないでしょ

子 ……でも、もう家族じゃないもんね? 家族じゃなくしたからね、あなたのせいだ!!

母 いやもう……私のことも考えてよ……こっちはずっと……ずっと、あなたたちの喧嘩をずっと見てきて、でもいつか、いつか仲良くなるかもしれないって、仲直りするかもしれないってずっと信じてきたから我慢してきたのに……結果が離婚なんだ? 好き勝手酔っ払って吐き出して離婚なんだ!?!

子 ……だから……お互いのための離婚なんだって……子どものためになってないだろそれは!!

母 ……いつかよくなるためだって、私が一番思ってるよ……だから今の仕事をしてるんだよ……私がどうあがいても、オリピックなくなんないからね。だったら自分がどうにかしようとしてるんだよ……それを分かれば……その分、好きなことさせてよ……ずっとやりたかったこともさせよ……もう体も良くないんだからさ……

子 ……なんであなた、今まで我慢してきたの……?

母

だからあんなたちのためだって……だからもう……そろそろ
私自身のやりたいことを……やらせてよ……

第十三場

父子

父、パソコンを用意する。

モーニング娘。の「ハッピーサマーウェディング」を流す。

なにしてんの…

それではつくみプロデュース、モーニング娘。の「ハッピ
ーサマーウェディング」を踊ります

父が汗だくになりながら踊りを披露する。

母がそれを見ている。

曲が終わる直前、母が離婚届を持って家を出る。

曲が終わる。

残された父と子。

うなだれている父を見ている子。

第十四場

ガヤガヤと人だかりが生まれている。
その中で、母と祖母が会って、会話する。

祖母 オリンピック終わったら、したいことってあるの？

母 うん。ずっとしたいことばっかり

祖母 なにしたい？

祖母 それまで体が丈夫だったらね

祖母 そうねえー

祖母 そうそう

祖母 ……したいことってなに？

字幕『2022』

職員①が職場でVRを装着する。

※映像は映さず。

自宅にてスマホやパソコンを見ている人たちがいる。

職員①が母を指し、

職員① そしてなんと、今日はこの「リモートお掃除」を考案した元
環境清掃部長も、ご自宅から参加中とのこと

母、リモートを見て「いいですいいです」みたいな反応。

母 いや紹介しないでよ

職員① 御茶ノ水のギャラリーで個展を開催中だそうです

母 いいですつてもうそーいうのは

職員① さらに舞台や小説にも、チャレンジしているそうです

母 あっははは

職員① さらに、息子さんに声優事務所にプロフィールを送っても
らっているようです

母、スマホを強めにタップする

母 あ、もう巻いてくださいー

父と子もスマホを見ながら参加する。

職員① あ、巻きます。それでは、音楽を流させていただきます

職員① ピアノ音楽「この道」が流れる。

職員① それでは開始です。この音楽が鳴り終わるまでです

全員、リモートお掃除を開始する。

音楽の一番が終わる間近、

父が、祖父役と祖母役と一緒に掃除をしている瞬間を見かける。

音楽の二番が終わる間近、
子が、弟役とその他の人たちが一緒に掃除をしている瞬間を見かける。

父、掃除をし、母の元へ近づいていく。

音楽の三番が終わる間近、

誰もが曲が終わるかど勘違いして、止まる。

(ピアノ音楽「この道」は3番で終わりそうな雰囲気)

職員① まだ続きますよ

音楽の四番が終わる間近、

父がゴミ袋を開け、母の拾ったゴミを入れるように促す。

母が父のゴミ袋にゴミを入れ、音楽が終わると同時に暗転。
おわり。

終演アナウンス

『本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございました。場内アナウンスは、出演していた五島ケンノ介こと、池田靖の妻であり、作・演出の池田亮の母が務めております。今作は、事実と異なる点多々ございます。私の苗字もまだ、池田でございます。ご了承くださいます。本日はご来場いただきまして誠にありがとうございました。』